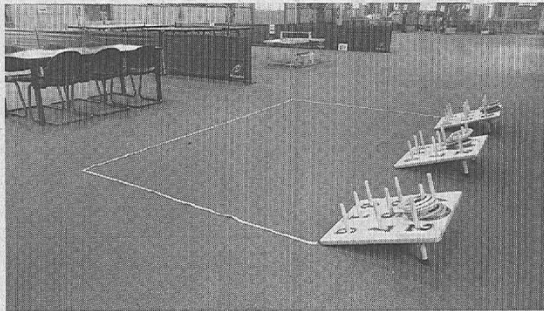


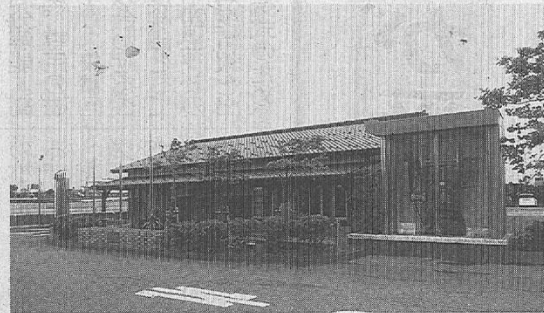
## 中日本ネットワーク

東海・信越・北陸

JAPAN METAL  
Local News



運動施設「らくらくアスレ・パーク」



交流施設「テクノハートセンター」

### 日鉄住金工材

# 新働き方改革を始動

## IOT導入、運動施設など

【上越】ステンレス・チタン・特殊合金を加工販売する日鉄住金工材(本社||新潟県上越市、石川昌弘社長)は、今年度も働き方改革の新しい取り組みを開始する。労働生産性の向上を目指し冷間ステンレスフラットバー(CFB)の製造ラインにIoTシステムを導入する。工場の余剰スペースには運動施設を作った。社員の健康増進に加え冬期には地元

少年野球にも解放して地域貢献を図る。男性の育児休業の質向上に向けた取り組みも進め、これまで以上に働きやすい職場環境を整える。

CFB製造ラインへのIoTシステムの導入は、工程の進捗状況をリアルタイムで把握するため、センサーと工程進捗管理システムを導入し、現場およびスタッフの生産性向上を図るのが狙い。設備

故障の予兆を事前に把握するため、圧延ローラー振動計測用センサーと測定システムも導入する。これにより設備トラブルの発生を低減し現場の生産性向上を図る方針だ。

同社は「働き方改革」と表現する独自の働き方改革に取り組んできた成果が評価され、本年3月に第2回「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」で県内初の「優秀賞」・職業安定局長賞(中小企業部門)を受賞した。今年度は働き方改革の新たな取り組みとして、社員の健康増進を図る健康経営を進める。

具体的には「レンガ倉庫」と呼ぶ外部購入品の一時保管倉庫に運動施設「らくらくアスレ・パーク」を作った。倉庫内の3分の2程の

余剰スペースに人工芝を敷き、ゴルフ練習用のネットや卓球台、ラケットマシン、輪投げなどの健康増進器具を設置し、社員が退勤後などに運動できる環境を整えた。降雪や積雪が多い冬期にはゴルフ練習用ネットを室内バッテリー用に変換することで地域の少年野球にも開放する。

男性の育児休業の質向上については、今年3月に完成した交流施設「テクノハートセンター」のオープンキッチンを活用。外部講師による料理教室「もぐもぐハッピーネス・クッキング」を開催する。社員が楽しく働ける職場環境を整えることで、職場の定着率を高め生産性向上にもつなげたい考えだ。